

農業振興策について

問 食の大切さを見直すための「食育基本法」が国会において成立したが、大切な食糧を生産する農業の市の振興策は

答 農業を志す若者が少ない今日、子供の時に農業を体験することで将来の農業の担い手が出来るかも知れません。子供たちに食の重要性和大切さを体験によって実感させることのできる「体験学習活動」を今後も積極的に支援してまいります。農道の未整備区間については、地権者から要望書を出していただき、緊急性の高いものから財政状況を考慮しまして整備をすすめてまいります。水利につきましても、地権者や耕作者の皆さんからのご意見を伺いながら必要な箇所については整備をすすめてまいります。後継者問題については深刻な状況であり、新規就農者による担い手の育成が重要な課題の一つとなっております。受け入れ農

家に研修に要する費用を助成することにより、研修生には受け入れ農家から毎月10万円程度の手当が支給されます。県が行っておりますこの支援制度が一年間に限られている為、その後については市において何らかの支援が必要と考えます。受け入れ農家や農業関係者とも相談して、支援内容を検討して参りたいと思っております。

問 サポート隊の発足に向けて取り組みの始まった今、通学路を主体に防犯灯の設置と管理の再検討をすべきと思うが

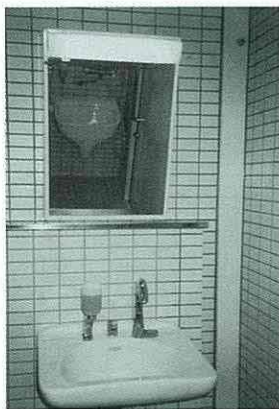
答 通学路の防犯灯につきましては旧両町においてすでに設置を完了したものと居りましたが、近年の通学路にからむ事件や事故を考えますと、今一度見直し、点検が必要であると考えます。また一般の防犯灯につきましても、維持、管理のあり方についても見直し、検討が必要であると考えております。

オストメイト対応トイレの設置について

問 市内在住のオストメイトは20名程ですが、全国では20万人以上いると言われ、ここ数年で倍増しています。公共施設や駅等にも対応トイレの設置が進められ、積極的に取り組んでいる自治体もあります。観光都市を標榜する御前崎市として、多くの人が出入りする公共施設等の身障者用トイレを改修し、安心して外出できる環境づくりと、高齢化社会に伴い和式を洋式にするトイレ全般の点検、改修の考えは

答 オストメイトの方たちが、安心して公共施設を利用するためには、対応できる施設環境が必要である。しかし、トイレの改修には相当の設備投資が必要となるので、現在の

身体障害者用トイレの利用状況も踏まえ、福祉部門、医療部門と連携して検討を進める。又、各公共施設の洋式トイレの比率を増やしていく必要性を感じているが、予算との絡みがあるので、各施設の優先度等含めて検討していきます。



※オストメイトトイレ

直腸及び膀胱等の癌切除手術のため排泄機能障害により排泄口に固定されている器具の洗浄や装着等の処理を行うことのできるトイレ設備。